

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	伊賀市立依那古小学校
取組の名称	「どんなはしのつかいかたがいいのかな」
実施時期	令和4年6月28日(火)
取組内容	<p>➤ 対象者:第1学年(6名) 指導者:担任・給食担当教員 場所:教室</p> <p>➤ 指導のめあて</p> <p>自分の箸の持ち方を振り返り、正しい持ち方やマナーで食事をしようとする意識を高める。正しい箸の持ち方や箸のマナーの必要性を理解し、気持ちよく、楽しく食事をすることができる。〈社会性〉</p> <p>➤ 指導の流れ</p> <p>入学してから今まで、1年生は毎日給食の時間を楽しみにしています。クラス全員が気持ちよく楽しく食事をするために普段から食事のマナーについて学級担任が指導しています。今回の取り組みは、食事のマナーの一つとしてお箸の正しい持ち方について指導しました。</p> <p>初めに普段のお箸の持ち方が正しいかどうかを確認し、その後なぜ正しい持ち方が大事なのかについて考えさせました。正しい持ち方をする事で様々な使い方ができることに気付き、正しく持とうとする意識を持たせることができました。また、どのように持てば良いのかについて伝える際には、教室内にあるTVに動画を映して指導しました。練習では、細かく切ったスポンジを皿から皿へ移すことを繰り返し行いました。「落とさずに移せた。」「2つ同時に掴めた。」「普段と持ち方が違うから難しい。」など、児童も楽しく練習することができました。</p> <p>➤ 取組の成果</p> <p>担任からは、「授業後の給食では、すべての児童が正しい持ち方で食べようと頑張っていました。これからも継続して指導していきたいです。」といった報告がありました。児童からは、「家でも正しい持ち方でご飯を食べたい。」「お母さんと一緒に練習する。」などの意見が多く出され、授業や学校の給食の時間だけに限らず、家庭も巻き込んだ食育教育を行うことができました。</p>

